



連載第29回

# Movement in Tokyo. No Spectator!!!

文章・写真・デザイン 高崎咲耶子 sayaco takasaki



7月29日、脱原発デモと国会大包围アクションへ参加した。一番リアルな時代の最先端では、大きなエネルギーが動いていた。国会周囲を埋めつくしたたくさんの灯りは、そのままのちの灯火の行進だった。

デモへ向かう途中に出合った年配の男性は、国民が意見を表明できる場所を継続していくことに、デモの意味があると話していた。日比谷公園は、デモに集った人で溢れかえり、福島を始め全国から

集まったさまざまな団体が、それぞれののぼりを色めかせていた。年配の参加者が、とても多く見られた。デモは、霞ヶ関や新橋の高層ビルの間を練り歩き、庁舎の前ではしばらくの間立ち止まって一際大きな声を上げた。デモ半ば、沿道でいくつもの日本国旗を掲げ、デモを批判する集団も居た。夜から国会大包围へ。灯りを持って、国会に向かって声をあげた。国会を囲む幾重にも幾重にもなった垣が、灯りと共に道を埋め尽くした。

思い描いていることは、生きていることが素晴らしいと思える未来、そこへ繋がる日々。弱者を作らない、どんな人でも生きやすい世の中。垂直に立ちただかる壁を、横の繋がりで囲んで超えていく。傍観者をやめて、どんな未来になって欲しいかを、一人ひとりがちゃんと考えよう。みんながこの日本、地球舞台の出演者だ。今まさに、本番。自分の意見や立場やメッセージを、それぞれの方法で表明しよう。そのいのちの輝きを、世界と宇宙へ向けて表明せよ！

info

- 対抗文化古書店カフェ気流舎にて店番
- イベントOneness Campにて出店
- >> 詳細はブログにて

blog

行雲流水-sayacoの世界放浪旅日記  
<北中南米アマゾン編+帰国後日本編>  
<http://tripblog.sayacommune.com>

contact

info@sayacommune.com  
facebook:sayaco.takasaki  
web:<http://sayacommune.com>